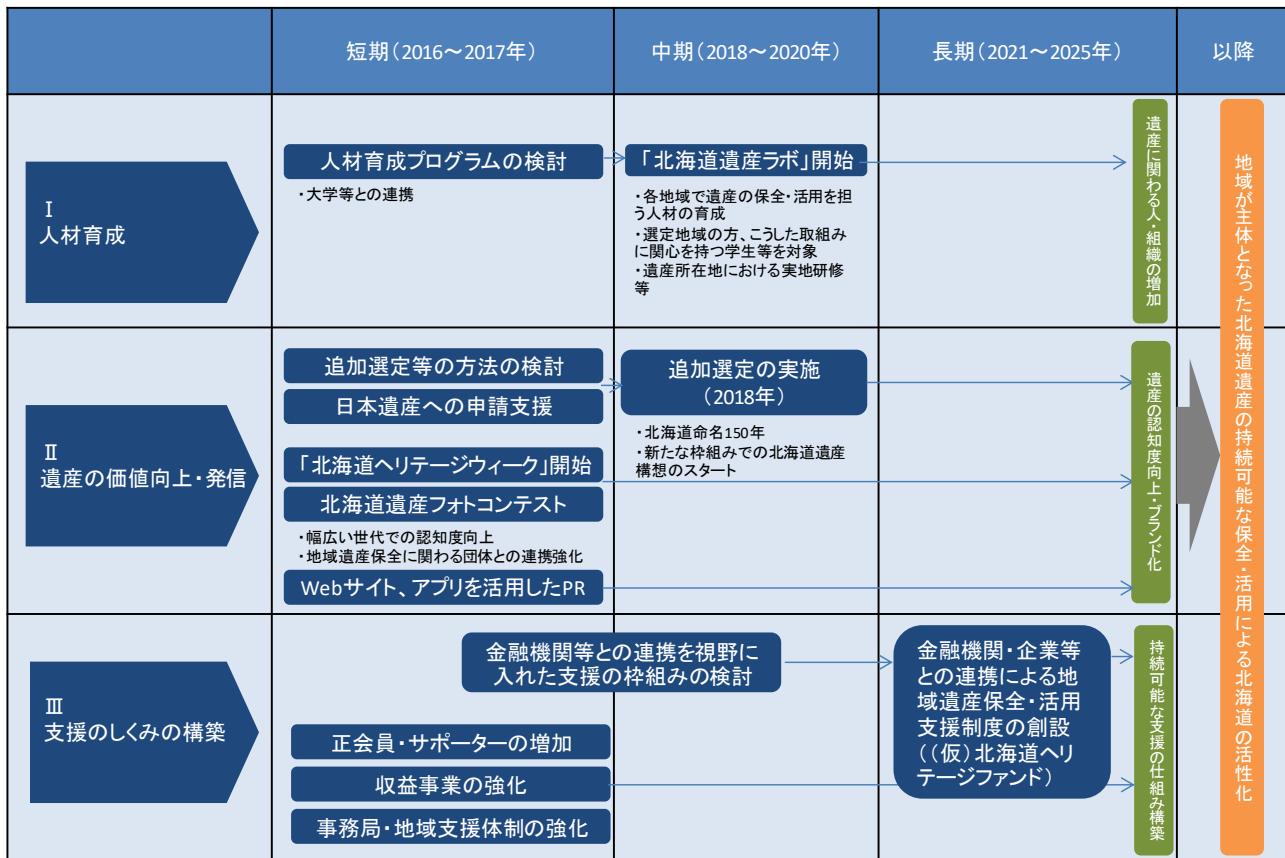


【議案第3号】

令和3年度NPO法人北海道遺産協議会事業計画（案）

北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン(2016策定)



＜令和3年度のポイント＞

● 選定事業 20周年記念事業の実施

2001年の第1回選定から20年が経過し、「北海道遺産」は地域の担い手の活動と共に、未来に向けて守り伝えられていく大切なものとしての認知が高まっている。今年度はこの20周年を機に、今迄も恒常的に関わり合ってきた北海道遺産地域の担い手とのネットワークを改めて編み強めていくための地域との“交流”や、様々な関係団体との“連携”を意識した「北海道遺産」周知推進事業を展開する。

● 第4回選定の実施

昨年度、第4回選定検討WGにて検討を行い、次の選定は、「北海道遺産の価値の向上とシェアリングヘリテージの理念を共有する第4回選定」を目指すこととして位置づけられた。地域にとっても大きな出来事である「選定」の機会をより広く周知し、多くの人々と北海道遺産の価値と理念をシェアできるよう、今年度、20周年事業と同時に展開することでその効果を高める。

※今年度事業も、新型コロナウィルスの状況により都度実施の可否を検討する

<令和3年度事業>

※前頁「北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン（2016策定）」の事業の柱Ⅰ～Ⅲに基づき事業計画案を構成する。なお、各項目の予算額に付記している、【普】【地】【保】【選】【そ】は、決算書類上の区分による

(1) 人材育成

◆「地域連携事業・ヘリテージラボ」（通年）

北海道遺産の次世代への継承や地域との連携について、課題の研究と、担い手と共に学び実践する場としての「北海道ヘリテージラボ」の活動を継続する。テーマによるワーキングチームを形成し、具体的な活動を通じて担い手と共に地域づくりを深化させる取組を実践する。

- ・オープソラボ（勉強会）チーム

新型コロナ禍で実績を積んだオンラインラボの取組を継続し、更に充実させて、幅広いテーマや 20周年企画とも連動した内容のオンラインセミナー・動画配信等を行う。

- ・北海道遺産食プロジェクトチーム

人々の関心が高く親しみやすい「食」をキーワードに各北海道遺産をつなげ、新たな角度から北海道遺産の魅力や価値を発信する。また、関係地域同士の新たな連携を促し、商品開発や観光資源化などの可能性を模索する。北海道庁が 2020 年に食のブランド力向上に向けて定めたキャッチコピー「食絶景北海道」も活用し、食にまつわるストーリーづくりを試みる。

- ・担い手ネットワーク構築チーム

過年度に実施した連携モデル事業により構築されつつある札幌市内の担い手ネットワークを更に発展させ、各施設の実施事業とも連携した取組となるようにスタンプラリーを実施する。ラリー参加者への抽選プレゼントには、昨年度札幌市と共催で実施した「Bunkazai Design Contest 2020」でデザインしていただいたトートバッグを制作しプレゼントとして活用する。また、担い手ネットワークの新たな取組として、東京工業大学助教・平輝氏にて行っている文化資源デジタルアーカイブ構築研究に協力し、歴史資料等の収集をスタンプラリー関連施設の連携のもと取組む予定。

- ・持続可能な支援の仕組み検討チーム

金融機関・企業等との連携による地域遺産保全・活用支援体制の構築について、専門家を交えた勉強会等を実施し、持続可能な地域支援のあり方について検討する。

○1,400千円[地]

(2) 遺産の価値向上・発信

◆「選定事業 20 周年記念事業の実施」（通年）

20 周年を機に、北海道遺産地域の担い手とのネットワークを、改めて編み強めていくための地域との連携による「北海道遺産」周知推進事業を展開する。

- ・10月13日（どーいさんの日）の制定

20 周年を記念して、10月13日を「道遺産（どーいさん）の日」として周知することで、市民に北海道遺産を身近に感じてもらうとともに、北海道遺産の記念日として位置付け、今後も広く PR する日とする。

- ・20周年ロゴの作成

20 周年事業期間中に使用するロゴを作成し、期間中のイベント等各種事業でも活用することで、20 周年を広く PR する。

- ・20周年特設 WEB ページの作成

既存 WEB ページ内に 20 周年特設ページを作成し、今年度実施する 20 周年事業や北海道遺産のこれまでの活動等を発信する。

- ・「20 周年のあゆみ」冊子と 67 件の普及用パンフレットの作成

北海道遺産構想のこれまでのあゆみをまとめた冊子を制作し、北海道遺産構想の草創期をアーカイブするとともに、次世代に伝えたい「北海道遺産」運動とはどのような想いを込めて継続されているのかを広く伝える資料とする。また、既存 67 件の概要を紹介したパンフレットを作成する。

- ・既存 WEB ページに担い手の姿が見える情報の充実

20 周年の節目を、地域の担い手との交流の機会として、担い手・関係者の現在情報の収集を実施する。特に参考事例となりそうないいくつかの遺産・地域については、インタビューを実施して記事を作成。20 周年特設 WEB ページに掲載することで、第 4 回選定に申請を予定している団体等の機運醸成を図る。

○1,200千円[普]

※特設 WEB100 千円、担い手インタビュー150 千円、冊子制作 900 千円、予備費 50 千円

◆「第4回選定の実施」(10月13日～2022年度継続)

「北海道遺産の価値の向上とシェアリングヘリテージの理念を共有する第4回選定」と位置づけ、北海道遺産構想と既存の遺産の価値を広く伝えながら、今回の選定への更なる価値づけを行うような選定作業およびそれに関連する応募促進事業を実施する。協議会として今年度から「道遺産（どいさん）の日」と位置付ける10月13日を選定募集スタートの日とし、選定を広くPRするとともに、市民に身近に感じてもらう事業とする。選定にあたっては幅広い専門家・有識者に委員としてご協力いただき選定を行う。

- ・第4回選定WGの開催

第4回選定に関わる全体スケジュールの統括と、選定手順等が滞りなく行われるよう運営するワーキンググループを設置する。月1～2回程度の会議等を予定。

- ・SNS等を活用したPR

第4回選定募集から選定に至るまでの機運醸成のため、SNSを活用したPRを行う。SNSの投稿には観光学を専攻する大学生・大学院生にご協力いただき、幅広い年齢層に向けた情報発信を行う。

- ・第4回選定候補募集の実施

第4回選定募集チラシの作成・配布、特設WEBサイトページの作成を行う。選定の機会を広くPRするため、商業施設などでの北海道遺産・選定周知イベントを行い、地域団体等の応募を促進する機会を設ける。

○600千円[選]

※SNS発信100千円、募集500千円

◆「北海道遺産交流会議の開催」(10月)※兼「I. 人材育成」

例年実施している交流会議を20周年記念セレモニーと同時開催として実施する。また、「ほっかいどう遺産WAON」によるご寄付が10年を経過したことをふまえ、寄附金感謝状贈呈式を交流会議内にて実施するとともに、イオン北海道㈱より発行が予定されている10周年記念限定「ほっかいどう遺産WAON」カードのお披露目も行う予定。開催日を第4回選定募集開始の10月13日近辺にすることで、選定募集開始のPRの機会とする。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンラインでの実施を企画する。

○500千円[地]

◆「北海道遺産フォトコンテスト2021」(7月17日～)

北海道遺産をテーマにしたフォトコンテストを実施。各地の北海道遺産へ足を運んでもらうきっかけとする。応募作品については、北海道遺産のウェブサイトや発行物などに活用、また、媒体等への提供も可能な形をとり、各遺産の魅力的な写真が数多く発信できる体制を整える。

○500千円[普]

◆「北海道ヘリテージウィーク2021の開催」(11月6日予定)

今年度も、札幌駅前通地下歩行空間でのパネル展示を行う。北海道遺産67件と助成金活動紹介パネルの展示、今年度実施予定のフォトコンテスト入選作品展示等を行い、北海道遺産を広く市民に周知する機会とする。

○500千円[普]

◆「Bunkazai Design Contest 2021」(9月～3月)

昨年度、新たな視点から地域遺産や文化財の魅力を発信するデザイン提案を求めて、札幌市と共に実施し、入賞作品を活用したグッズは文化財が一般市民に親しまれるきっかけとして、新しい発

信方法を獲得することができた。今年度も同取組を継続し、広く多様な分野の人々に地域資産への関心と親しみをもってもらうものとして実施する。

○500 千円[普]

◆ 「Web 等での情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関する情報を、サイト、twitter、Facebook や、経年度より基盤整備を行っていた CRM システムを活用するなどして、幅広くタイムリーに発信する。

○200 千円[普]

◆ 「会員サービス」(随時)

協議会の活動情報、地域の行事情報などを掲載する手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行（年 2 回程度）、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。会員への年次特典として、昨年度実施した「Bunkazai Design Contest 2020」でデザインしていただいたトートバッグを制作する。

○200 千円[普]

◆ 「その他 PR」(随時)

今年度は、北海道中央バスの路線バス内液晶モニターで北海道遺産の PR 広告の放映を無償でご協力いただく予定であり、また、11月 17 日・18 日に札幌市内で開催される日本博物館協会の全国大会において展示ブースへの出展を予定するなど、企業や関係団体等との連携を意識した PR を展開する。なお、来年度、第 4 回選定公表後に広く北海道遺産を PR するための広報媒体として、北海道遺産地域を行き交う大型バスのラッピングを予定し、その予算を別途予備費に計上する。

その他、遺産の P R となる雑誌広告等、費用対効果を踏まえ PR を適宜実施する。

○1,500 千円[普]

(3) 支援のしくみの構築

◆ 「ほっかいどう WAON 助成活動」支援 (6 月～) ※兼「I. 人材育成」

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金により、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、総額 700 万円（50 万円以内/数件）の活動に対する助成を行う。北海道遺産地域の担い手の活動活性化や新たな担い手の巻き込みを目標に、助成先には交流会議の分科会への積極的な参加を呼び掛ける。

○7,300 千円[地]※イオン北海道様感謝状贈呈式予算含む

◆ 「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援 (6 月～)

「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金による、各地域への助成（総額 90 万円）を実施。北海道遺産の環境・景観の保全活動に対して助成する。

○800 千円[保]

◆ 「会員拡大」(随時)

会員入会促進のために、理事および事務局が積極的に地域に展開する。

○100 千円[普]

(4) その他事業について

◆ 理事会・総会の開催

定期総会（年1回）を実施する。また理事会については必要に応じて実施することとする。
○150千円[そ]